

佐賀市環境マネジメントシステムの 運用状況について ～令和6年度実績報告～

佐賀市 環境部 環境政策課

環境マネジメントシステムとは

E M S - Environmental Management System

- 企業や団体等の組織が、環境に関する方針や目標を自ら設定し、その達成に向けた取組を実施するための計画・体制・プロセスのこと
- また、こうした環境管理の取組状況について、客観的にチェックを行うことを「環境監査」という
- 環境マネジメントシステムには、環境省が策定したエコアクション21や、国際規格のISO14001がある



佐賀市環境マネジメントシステムとは

目的

- 環境の保護及び改善に資する活動の継続的な推進
- 率先行動及び効果的な行政運営の実現

適用範囲 ※市役所全体

- 事務事業や活動
- 全ての職員 約3,000人
- 庁舎、観光・文化・保健施設、学校、教育施設、企業局、病院など

実施方法

- ISO14001を参考にした独自のシステムを構築し運用
- 全体を24部門（各部局、各支所及び企業局など）に分け、重点目標や共通目標の達成を目指して、PDCAサイクルにより実施

EMSの組織と役割

管理組織

- 統括者：市長
- 管理組織：環境管理委員会
- 事務局：環境政策課
- 実行組織：全部署

計画実績等の評価
運用管理・内部監査
重点目標の設定、進捗管理、報告

外部評価組織

- 環境審議会

1	総務部	9	保健福祉部	17	富士支所
2	政策推進部	10	子育て支援部	18	三瀬支所
3	経済部	11	地域振興部	19	川副支所
4	農林水産部	12	国スポ・全障スポ推進部	20	東与賀支所
5	都市戦略部	13	各種委員会	21	久保田支所
6	建設部	14	教育部	22	交通局
7	環境部	15	諸富支所	23	上下水道局
8	市民生活部	16	大和支所	24	富士大和温泉病院

※上記部門は令和6年度の体制。

施策目標と共通目標

・施策目標 ※環境基本計画に掲げる施策に関する事業

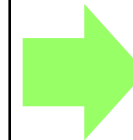
・共通目標 ※全庁共通の取組

<R6年度までの目標>

1	コピー用紙購入量の削減	部門ごとに主管課が 目標値を設定
2	職場排出物の抑制	
3	施設エネルギー使用量の削減	
4	自動車燃料使用量の削減	
5	グリーン購入の推進	全庁目標100%

<R7年度からの目標>

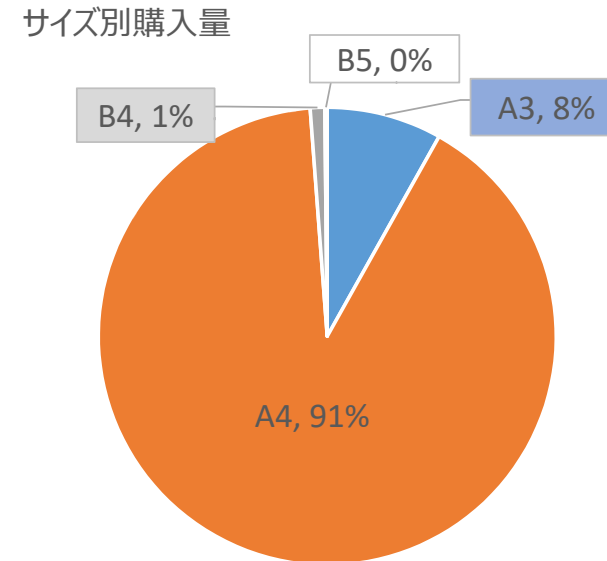
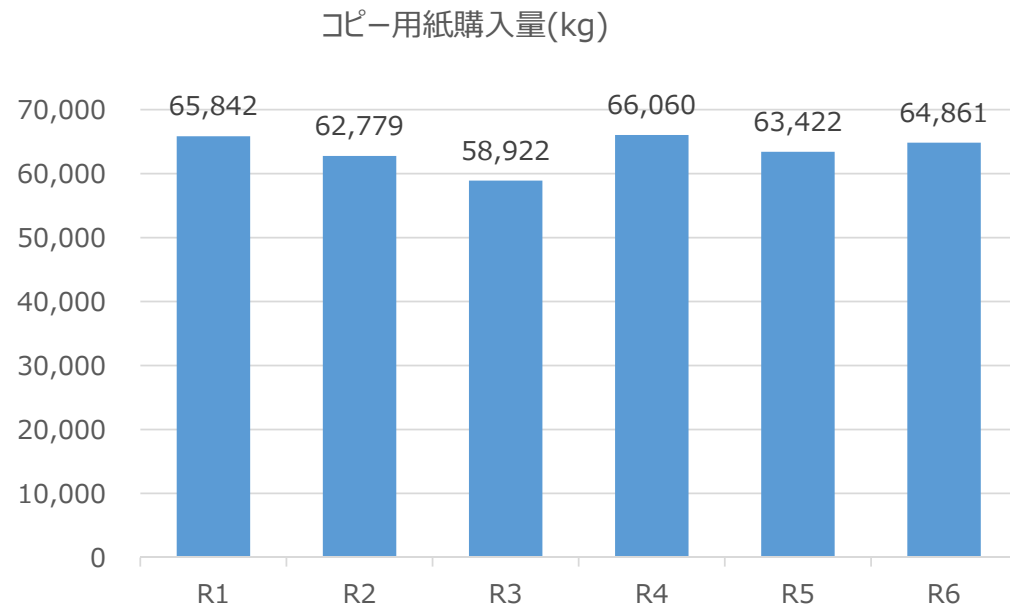
30%以上削減
12%削減
20%削減
30%削減
全庁目標100%達成



達成度

目 標		対象 部門数	目標達成部門数		
			R5	R6	増減
1	コピー用紙購入量の削減	24	15	15	0
2	職場排出物の抑制	24	13	10	△3
3	施設エネルギー使用量の削減	22	12	12	0
4	自動車燃料使用量の削減	24	18	19	+1
5	グリーン購入の推進	24	8	6	△2

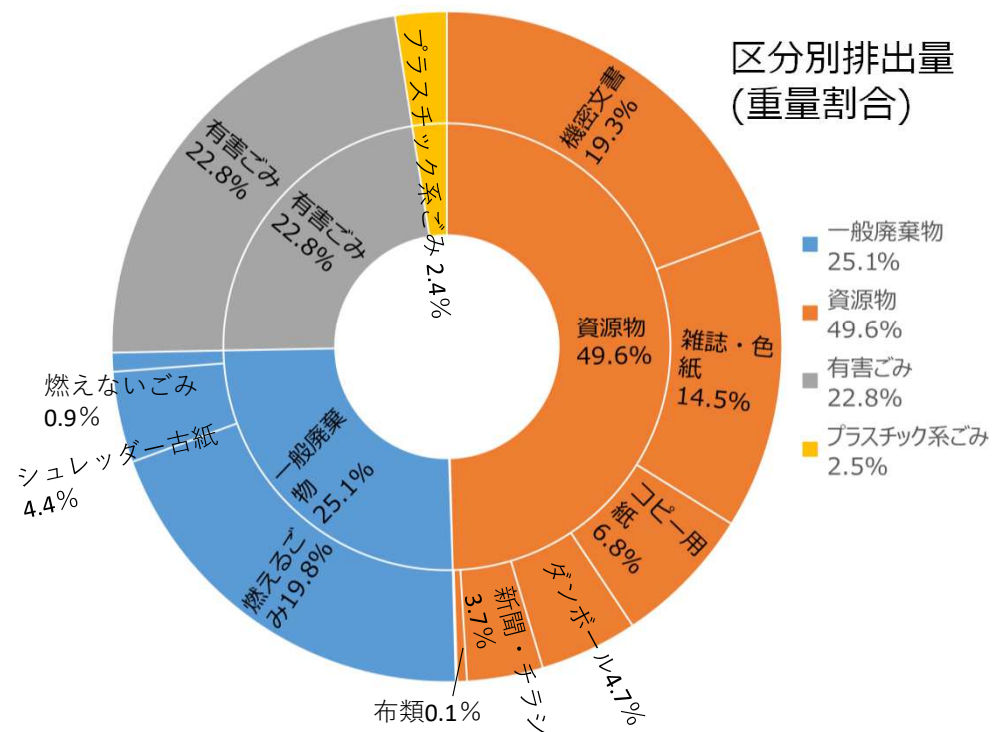
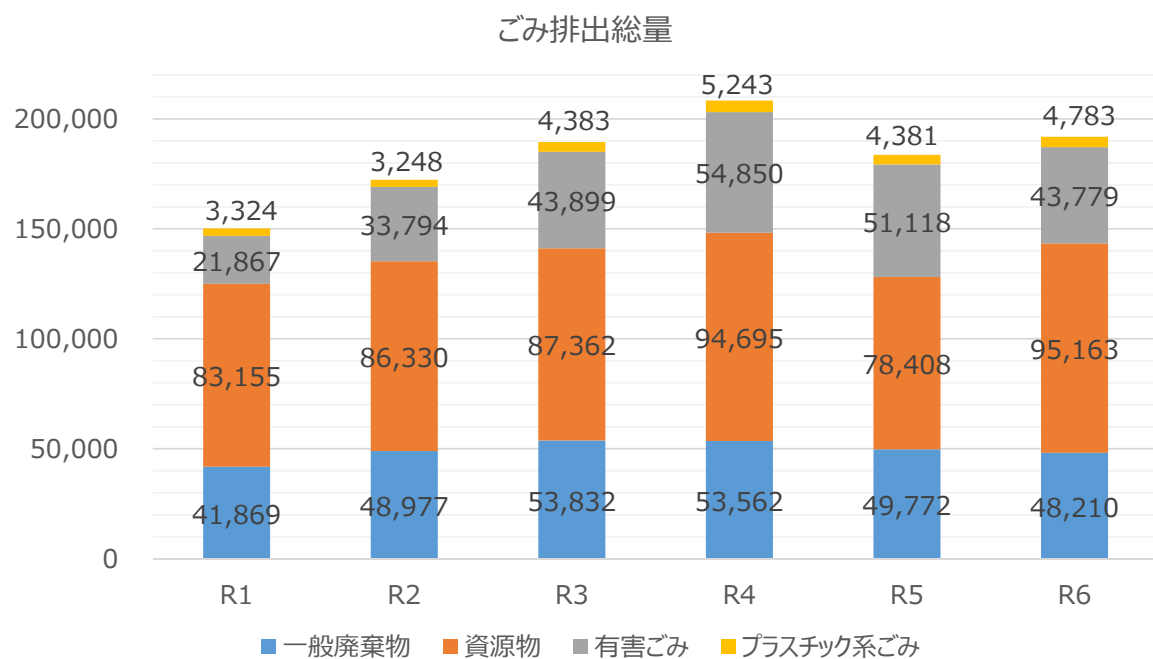
1 コピー用紙購入量の削減



※全体で前年度比2%増加。国スポ・全障スポ大会の開催や、10月の衆議院選挙に伴う購入量の増加がみられた。

共通目標 1 : 総務部、政策推進部、経済部、建設部、環境部、保健福祉部、子育て支援部、地域振興部、
達成部門 教育部、各種委員会、諸富支所、富士支所、川副支所、上下水道局、富士大和温泉病院

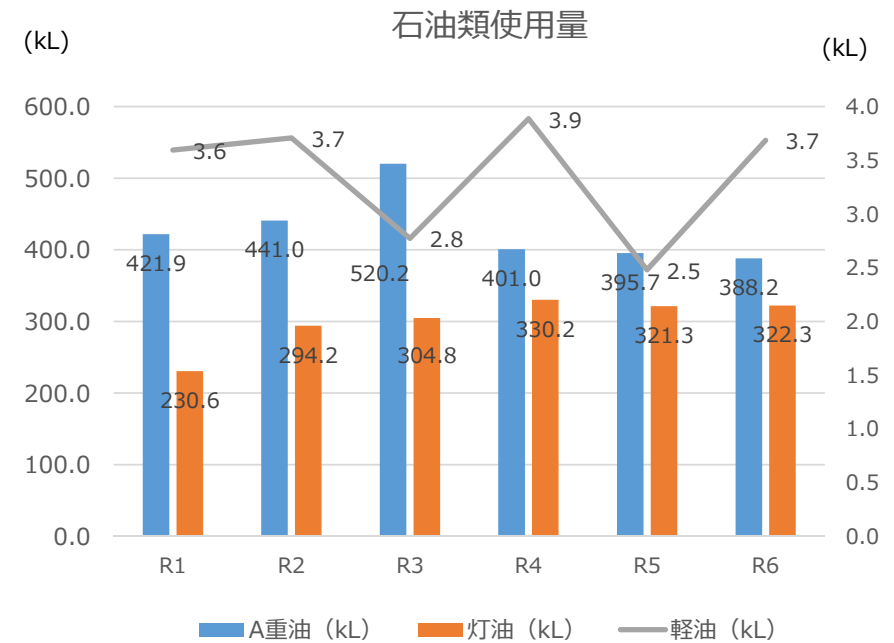
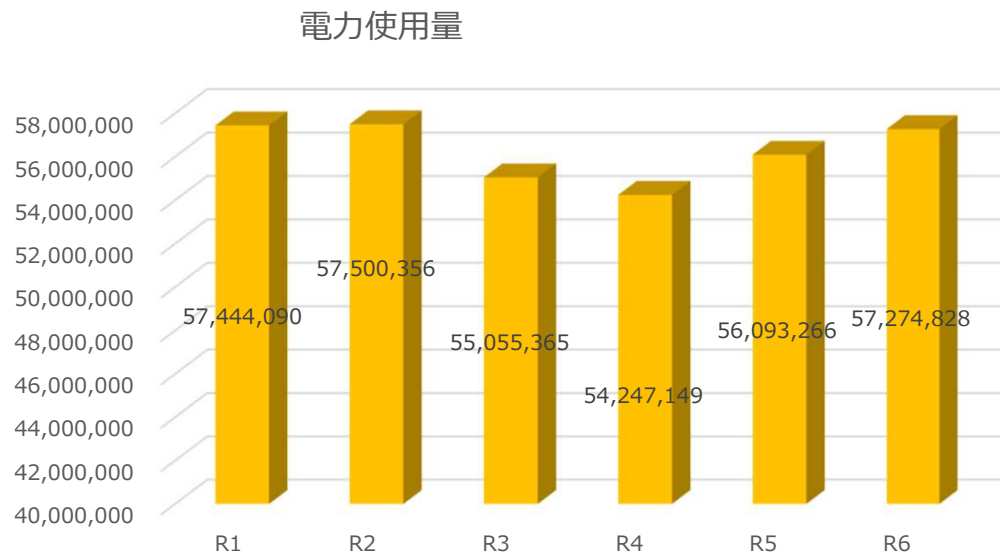
2 職場排出物の抑制



※全体で前年度比4%増加。特に、資源物「雑誌・色紙」、「機密文書」などの紙類が増加している。

共通目標 2：政策推進部、建設部、市民生活部、地域振興部、教育部、各種委員会、
達成部門 諸富支所、富士支所、交通局、上下水道局

3 施設エネルギー使用量の削減（電気・石油類）

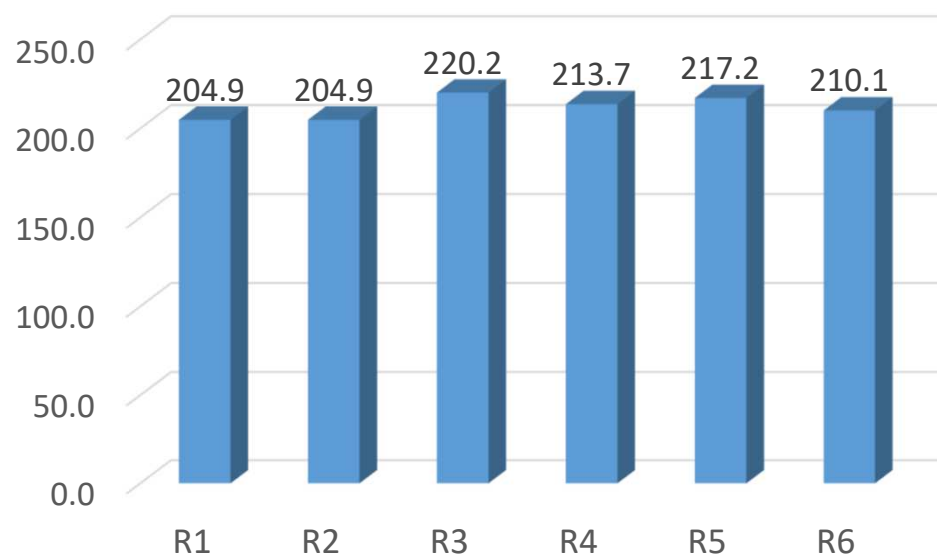


【電力】全体として、前年度比2%増加。主な要因として、国スポ・全障スポ大会業務にかかる空調利用の増加や、近年の顕著な気候変動の影響による冷暖房利用の増加に伴うものと思われる。

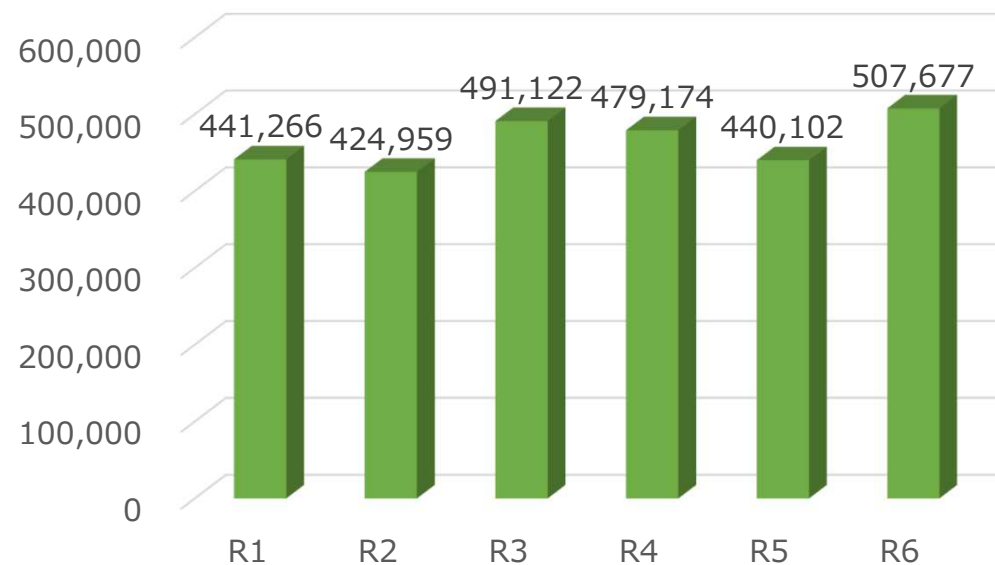
【重油・灯油・軽油】軽油の使用量が前年度比で1.5倍増加しており、スポーツ施設の利用が増加したためである。重油・灯油の使用量は横ばいである。

3 施設エネルギー使用量の削減（ガス）

LPG使用量（t）



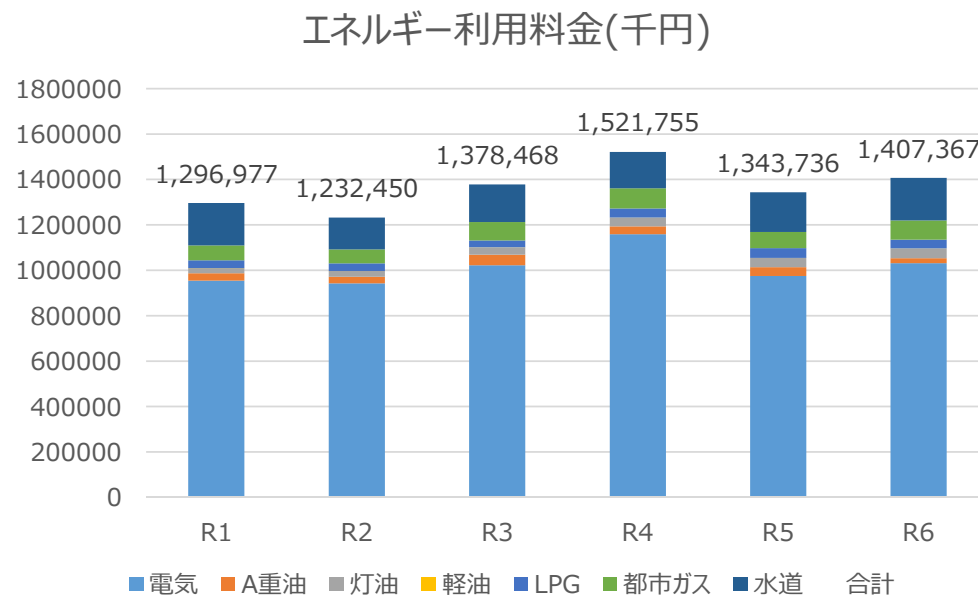
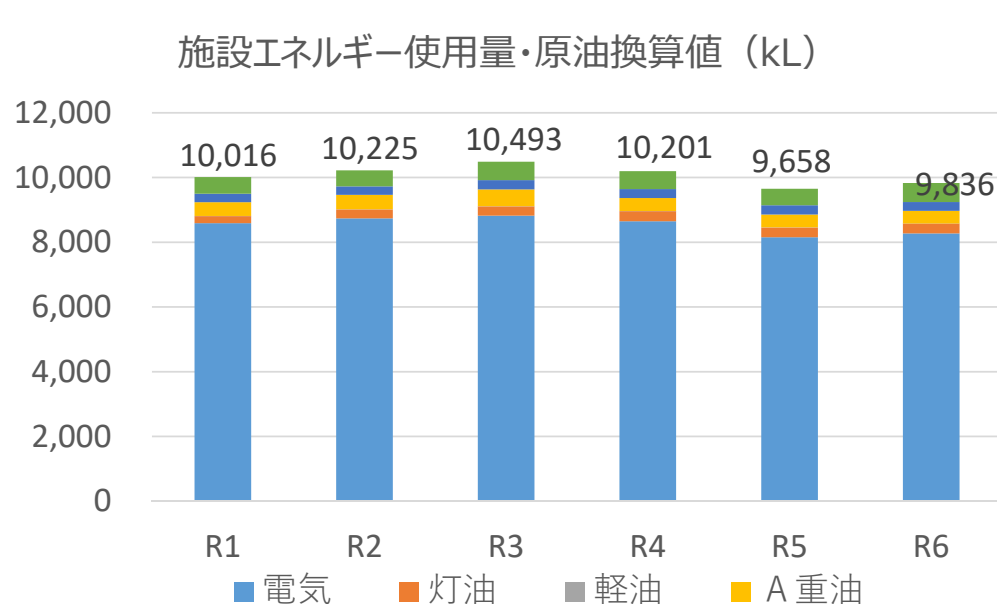
都市ガス使用量（m³）



【LPG】対前年度比で約3%減少している。

【都市ガス】対前年度比で15%増加。使用量増加の主な原因は、庁舎や高齢者施設などの夏季の空調利用の増加によるものや、本庄こども園の開設によるものである。

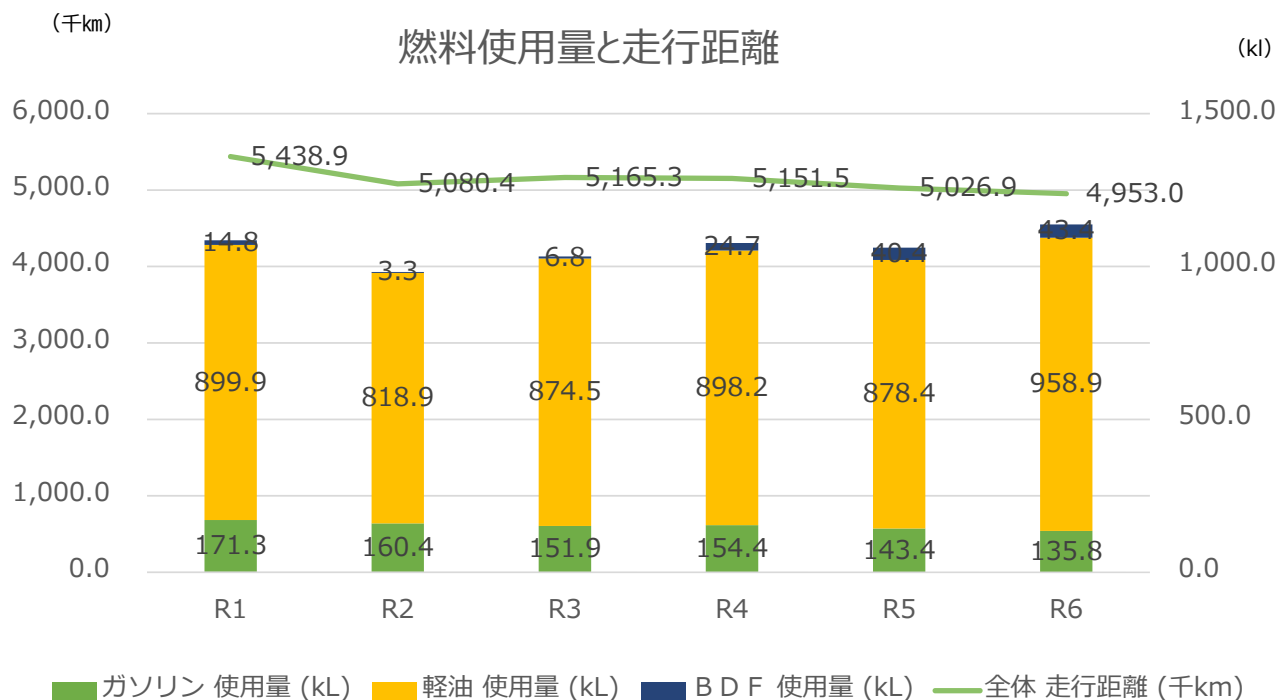
3 施設エネルギー使用量の削減（使用量・コスト）



原油換算した値は全体で対前年度比約2%増加している。エネルギー利用料金は対前年度比約5%増加しており、全体で約6千万円の増加。空調利用の増加による電気使用量の上昇や、軽油、都市ガスの利用が増加している。

共通目標 3 : 総務部、政策推進部、農林水産部、都市戦略部、建設部、環境部、国スポ・全障スポ
達成部門 推進部、諸富支所、富士支所、川副支所、久保田支所、富士大和温泉病院

4 自動車燃料使用量の削減



【走行距離】

・前年度比1%減少。

【軽油】

・前年度比9%増加。

【ガソリン】

・前年度比5%減少。

【高品質バイオディーゼル (HiBD)】

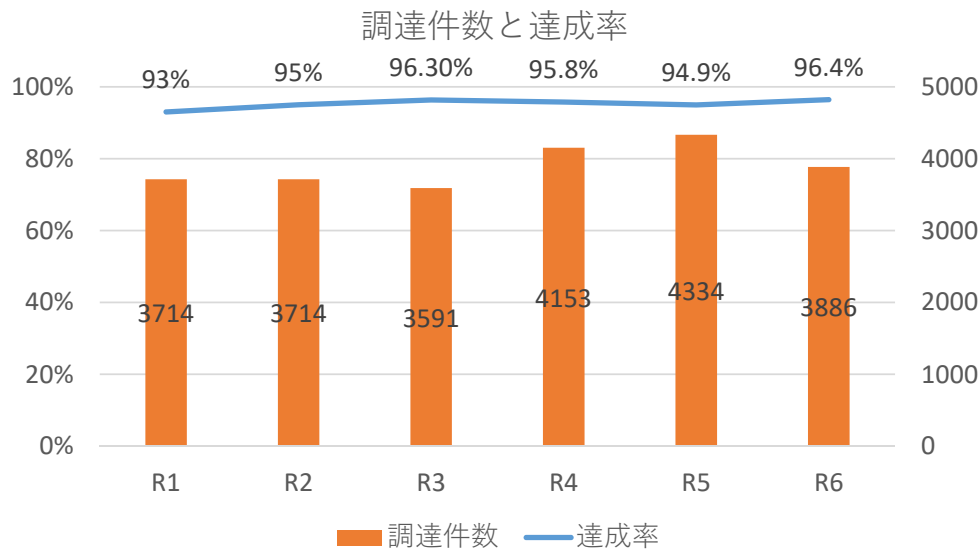
・廃食用油を回収・精製し、軽油と同等質である燃料として利用。

・R2から市営バスとごみ収集車の燃料として使用している。

共通目標 4 : 総務部、政策推進部、経済部、農林水産部、都市戦略部、建設部、環境部、市民生活部、保健福祉部、国スポ・全障スポ推進部、
達成部門 各種委員会、諸富支所、大和支所、富士支所、三瀬支所、川副支所、交通局、上下水道局、富士大和温泉病院

5 グリーン購入の推進

- 全部門で目標達成率100%を目指す。



【主な未達成理由】

- ▶ 機能性・安全性等の観点から選択できない
- ▶ 希望する仕様が、グリーン購入適合ではない
- ▶ 価格が高価である

その他、利便性を重視した理由で未達成というケースがあることや、購入する前に必要性を考え、環境への負荷ができるだけ少ないものを計画的に購入するなど、グリーン購入の基本的なことを周知徹底していく必要がある。

共通目標 5 : 経済部、大和支所、富士支所、川副支所、東与賀支所、
達成部門 富士大和温泉病院

令和6年度内部環境監査

対象部門：総務部、政策推進部、久保田支所、交通局

評価	内容
不適合	<ul style="list-style-type: none">・環境法令の理解不足による不備（フロン排出抑制法）・EMS関連手順書の確認不足による不備（計画書／報告書の環境法令順守状況の報告記載漏れ、排出物の分別不徹底）
改善の提案	<ul style="list-style-type: none">・過去の実績を評価・分析したうえでの適正な目標設定・環境法令の再確認
ストロングポイント	<ul style="list-style-type: none">・車両燃料使用量の削減（自転車、バス利用、Web会議、PC持ち寄りで会議 等）・公用車管理システム、オンライン受験や電子入札システムの導入・コピー用紙使用量の削減（裏紙利用の通常設定、資料のデータ化 等）・マイボトルの利用、会議等でのペットボトルの使用抑制（紙や缶の飲み物の提供）・ボランティア清掃の実施

※指摘事項については、監査後速やかに是正し、全庁に注意喚起を行っています。

また、ストロングポイントについても他部門の取組の参考となるように全庁に紹介しています。

【令和7年度監査対象】農林水産部、市民生活部、地域振興部、教育部、大和支所